



図2 上段:図 1 第3段に同じ。中段:太陽エネルギーの変化のみを考慮した場合。下段:モデルに与えた自然起源の気候変動要因の時間変化。黄色線は太陽エネルギーの変化を、青線は大規模火山噴火に伴い成層圏まで到達したエアロゾルが地表を冷やす効果を表す。両者は違う物理量を示しているため、その大きさを直接比較できないことに注意が必要。この結果から、20 世紀前半(1910 ~ 1945 年頃)の昇温傾向は太陽エネルギーの増加のみでは説明できず、火山噴火による寒冷傾向からの回復と太陽エネルギーの増加に伴う緩やかな昇温との重ね合わせに因るものであると考えられる。